

※ 今週のアウトルック(3/9~3/13)

先週月曜日に、各通貨に対して米ドルが大きく上昇しましたが、その後は各通貨ペアとも方向感が定まらない展開となりました。イラン情勢により、刻一刻と変化しているように思います。

今週も、イラン情勢により大きく左右される可能性が高いように思います。また、金曜日に発表された米国雇用統計の結果は、予想外の悪化を招いており、このあたりも今各通貨ペアの動きにどのような影響を与えるのか、まずは注目したいところです。

先週のドル円は、月曜日に大きく上昇しましたが、その後158円付近のレジスタンスを破ることはできず、156円から157円付近の動きとなりました。

今週はまず、先週金曜日に発表された米国雇用統計の悪化を、アジア市場がどのように受け止めるか注目したいところです。FRBの要人発言にも注目が集まりそうです。

ドル円の予想レンジは、152円~159円です。

ユーロドルは先週月、火曜日と大きく下落して1.16付近のサポートラインに何とか支えられている状況です。

このラインを割り込む可能性は少ないように思いますが、イラン情勢による市場心理の変化には注意が必要です。

ユーロ円も下落気味の動きとなっています。180円付近まで一度下落する可能性も考慮しておいた方が良さそうです。

ユーロ円の予想レンジは、180円~185円です。

ポンド円は先週月曜日に、一度209円付近まで下落しましたが、週末には211円台後半まで戻ってきています。今週もイラン攻撃の影響で方向感を見出しづらい状況が続きそうです。

ポンド円の予想レンジは、207円~215円です。

WTIの原油先物が先週末、一気に90ドル台に達しました。しばらくは原油のボラタイルな動きは続きそうですが、その影響で各通貨ペアがどのように動くのか、注目したいところです。

\* 免責事項 \*

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。